

戦後70年の節目の年を迎える

～平和への想い～

終戦から70年を迎えました。私自身を含め、戦争を直接体験していない世代が増える中、戦争や原爆にまつわる記憶や体験を風化させることなく、将来世代に受け継いでいかなければなりません。そして、改めて、私たちが享受している平和が、戦争で亡くなった多くの方々の犠牲の上にあることを心に刻み、これからも平和を念願します。

大津市では、昭和62年6月に市議会で決議された「ふるさと都市大津恒久平和都市宣言」の主旨を踏まえ、毎年、「平和祈念パネル展」や「平和の鐘撞き」などの平和啓発事業を行ってまいりました。

原爆投下から70年を迎える今年、市民の皆様の平和への願いを込めた「折り鶴」を広島の平和記念公園に捧げたいと思います。

ここに折り鶴を折っていただくためのブースを設置いたしました。折り鶴は、8月6日に開催される平和記念式典にあわせ、広島市にお送りします。

皆様方のご協力をお願いします。

大津市長 越直美